

# 保健学科教育学修プログラム

## 看護学専攻

### 令和2年度後期

### 3年次

#### 【米子地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:50 ~ 16:20
5時限	: 16:40 ~ 18:10

#### 【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:45 ~ 10:15
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:45 ~ 16:15
5時限	: 16:30 ~ 18:00

## 令和2年度 授業時間配当表(保健学科看護学専攻3年次)

		前 期									
		前半(8)					後半(8)				
		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1	看護研究方法論	医療英語 I	医療情報システム学	公衆衛生看護学演習	成人看護学演習	看護研究方法論	医療英語 I		公衆衛生看護学演習	成人看護学演習	
2	在宅看護学演習	助産診断・技術学 I	人類遺伝学	公衆衛生看護学演習	助産診断・技術学 I		助産診断・技術学 II	人類遺伝学	公衆衛生看護学演習	助産診断・技術学 II	
3	健康の危機と看護	尊厳のある死と看護	小児家族看護学演習		母性家族看護学演習 II	生活援助論演習 III	尊厳のある死と看護	小児家族看護学演習			
4					母性家族看護学演習 II	生活援助論演習 III		在宅看護学演習			
5											

\* 臨地実習 9月から開始

		後 期									
		前半(8)					後半(8)				
		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1	助産業務管理論	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習		臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	
2	医療英語 II	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	医療英語 II	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	
3	家族看護論	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	
4	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	
5	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	

\* 助産診断技術学演習 I 9、11、1、2、3月に集中講義

\* 看護の統合 2月に集中講義

16週制

令和2年度・七曜表  
(保健学科看護学専攻3年次)

	前 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
4				1	2	3	4	1
	5	6	7	8	9	10	11	2
	12	13	14	15	16	17	18	3
	19	20	21	22	23	24	25	4
	26	27	28	29	30	1	2	5
5	3	4	5	6	7	8	9	6
	10	11	12	13	14	15	16	7
	17	18	19	20	21	22	23	8
	24	25	26	27	28	29	30	9
6	31	1	2	3	4	5	6	10
	7	8	9	10	11	12	13	11
	14	15	16	17	18	19	20	12
	21	22	23	24	25	26	27	13
7	28	29	30	1	2	3	4	14
	5	6	7	8	9	10	11	15
	12	13	14	15	16	17	18	16
	19	20	21	22	23	24	25	17
8	26	27	28	29	30	31	1	試験
	2	3	4	5	6	7	8	再 試
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
9	23	24	25	26	27	28	29	
	30	31	1	2	3	4	5	1
	6	7	8	9	10	11	12	2
	13	14	15	16	17	18	19	3
	20	21	22	23	24	25	26	4
27	28	29	30				5	

	後 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
10					1	2	3	5
	4	5	6	7	8	9	10	6
	11	12	13	14	15	16	17	7
	18	19	20	21	22	23	24	8
	25	26	27	28	29	30	31	9
	11	1	2	3	4	5	6	7
8		9	10	11	12	13	14	11
15		16	17	18	19	20	21	12
22		23	24	25	26	27	28	13
29		30	1	2	3	4	5	14
12	6	7	8	9	10	11	12	15
	13	14	15	16	17	18	19	16
	20	21	22	23	24	25	26	17
	27	28	29	30	31	1	2	
1	3	4	5	6	7	8	9	18
	10	11	12	13	14	15	16	19
	17	18	19	20	21	22	23	20
	24	25	26	27	28	29	30	21
2	31	1	2	3	4	5	6	22
	7	8	9	10	11	12	13	23
	14	15	16	17	18	19	20	24
	21	22	23	24	25	26	27	25
3	28	1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31					

備考

- ◇ 5月7日(木) 月曜日授業
- ◇ 6月1日(月) 開学記念日
- ◇ 7月27日(月) 定期試験期間開始
- ◇ 8月6日(木) 定期試験期間終了
- ◇ 8月7日(金) 再試験期間開始
- ◇ 8月21日(金) 再試験期間終了
- ◇ ※月曜日午前は定期試験、22週目
- ◇ ※月曜日午前は再試験、24週目
- ◇ 5週目～21週目までの月曜午後は臨地実習も含む

課題による自宅学習及び体調観察期間

第1Q	<span style="background-color: red; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 月曜授業	<span style="background-color: yellow; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 火曜授業	<span style="background-color: cyan; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 水曜授業	<span style="background-color: orange; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 木曜授業	<span style="background-color: lightgreen; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 金曜授業
第2Q	<span style="background-color: pink; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 月曜授業	<span style="background-color: lightyellow; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 火曜授業	<span style="background-color: lightcyan; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 水曜授業	<span style="background-color: peachpuff; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 木曜授業	<span style="background-color: limegreen; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 金曜授業
	<span style="background-color: purple; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 臨地実習	<span style="background-color: lightpurple; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span> 臨地実習(午後)			

# 保健学科看護学専攻3年次目次

後期

	区分	授業科目名	
必修	外国語	医療英語Ⅱ(ウィルシャー)	5
必修	外国語	医療英語Ⅱ(戸野)	6
必修	専門科目	成人看護学実習Ⅰ	7
必修	専門科目	老年看護学実習	8
必修	専門科目	母性家族看護実習	9
必修	専門科目	小児家族看護学実習	10
必修	専門科目	公衆衛生看護学実習	11
必修	専門科目	精神看護学実習	12
必修	専門科目	在宅看護学実習	13
○ 必修	専門科目	家族看護論	14
必修	専門科目	看護の統合	15
選択	専門科目	助産診断技術学演習Ⅰ	16
選択	専門科目	助産業務管理論	17

※選択科目:選択、選択必修科目:選必、必修科目:必修は平成30年度入学者を基準としています。

※主題、基幹(人文・社会分野)から卒業までに15単位以上修得してください。

※専門科目については、課程表を確認してください。

※助産師の取得を目指す者は、人類遺伝学、助産診断・技術学Ⅰ・Ⅱ、助産診断技術学演習Ⅰ、助産業務管理論を修得してください。

※○は、公開授業講座となり、一般の方が講義を受講されることがあります。

授業のレベルについて

- 1: 入門及び初級レベル
- 2: 中級レベル(基礎科目)
- 3: 中級～上級レベル(応用科目)
- 4: 上級レベル(発展科目)
- 5: 大学院レベル

## 医療英語Ⅱ(ウィルシャークラス)

科目到達目標: Being a Good Medical English Speaking Nurse

科目責任者(所属): ティム・ウィルシャー(基礎看護学)

研究室TEL: 0859-38-6301、email: timw@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/5(月)	2	261	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Classroom overview/introduction, Lesson 1	ウィルシャー	基礎看護学	First visit to the hospital	registration, internist
2	10/12(月)	2	261	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Lesson 2	ウィルシャー	基礎看護学	Physical complaints	stomacheache, nausea, diarrhea
3	10/19(月)	2	261	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Lesson 3	ウィルシャー	基礎看護学	Medical examination	numbness, laboratory, abdomen
4	10/26(月)	2	261	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Lesson 4	ウィルシャー	基礎看護学	Giving directions	corridor, reception, X-ray
5	11/2(月)	2	261	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Lesson 5	ウィルシャー	基礎看護学	Consulation with a doctor	results, prescription, onset
6	11/9(月)	2	261	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Lesson 6	ウィルシャー	基礎看護学	Emergency	records, scared
7	11/16(月)	2	261	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Midterm Review I	ウィルシャー	基礎看護学		
8	11/30(月)	2	261	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Midterm Review II	ウィルシャー	基礎看護学		
9	12/7(月)	2	261	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Lesson 7	ウィルシャー	基礎看護学	Hospitalization	primary nurse, admitted
10	12/14(月)	2	261	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Lesson 8	ウィルシャー	基礎看護学	Daily life in hospital	thermometer, temperature, check your pulse
11	12/21(月)	2	261	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Lesson 9	ウィルシャー	基礎看護学	Checking vital signs	comfortable, breathing, breathe, breath
12	1/4(月)	2	261	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Lesson 10	ウィルシャー	基礎看護学	Meals at hospitals	breakfast, appetite, cellophane, piece of toast/fruit/etc
13	1/18(月)	2	261	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Final Review & Writing Test	ウィルシャー	基礎看護学		
14	1/25(月)	2	261	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Speaking Assessment	ウィルシャー	基礎看護学		
15	2/1(月)	2	261	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Speaking Assessment (continued)	ウィルシャー	基礎看護学		

教育グランドデザインの関連: 1、2、4

学位授与の方針との関連: 2、4

授業のレベル: 3

評価: 定期試験 40%, 参加 25%, 発表/オーラル面接 25%, 小テストとか 10%

実務経験との関連: 無し

教科書: 看護師のための英会話, 新宿 スタジオ, 2016

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

## 医療英語Ⅱ(戸野クラス)

科目到達目標：Being a Good Medical English Speaking Nurse

科目責任者(所属)：戸野 康恵(非常勤講師)

連絡先：学務課を通して連絡

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/5(月)	2	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Meeting Patients	戸野 康恵	非常勤講師	初診時の問診を行う	registration, life-style questionnaire
2	10/12(月)	2	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Taking a Medical History	戸野 康恵	非常勤講師	病歴について尋ねる	health problems, hospitalization, vaccination
3	10/19(月)	2	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Assessing Patients' Symptoms	戸野 康恵	非常勤講師	症状について尋ねる	symptoms
4	10/26(月)	2	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Taking Vital Signs	戸野 康恵	非常勤講師	バイタルサインの測定をする	vital signs
5	11/2(月)	2	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Taking a Specimen	戸野 康恵	非常勤講師	血液検査、尿検査の説明をする	blood test, urine test
6	11/9(月)	2	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Conducting Medical Examination	戸野 康恵	非常勤講師	検査の説明、指示をする	X-ray, ultrasound, ECG
7	11/16(月)	2	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Assessing Pain	戸野 康恵	非常勤講師	痛みについて尋ねる	body parts, pain
8	11/30(月)	2	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Advising about Medication	戸野 康恵	非常勤講師	薬の服用について説明する	medication, side effects
9	12/7(月)	1	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Improving Patients' Mobility	戸野 康恵	非常勤講師	リハビリの援助をする	exercise, transfer
10	12/7(月)	2	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Maintaining a Good Diet	戸野 康恵	非常勤講師	食事療法の助言をする	diet, nutrients, health conditons
11	12/14(月)	1	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Caring for Inpatients	戸野 康恵	非常勤講師	入院中の生活について説明する	operation, hospital rules, schedule
12	12/14(月)	2	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Coping with Emergencies	戸野 康恵	非常勤講師	救急患者に対応する	emergency
13	12/21(月)	2	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	review	戸野 康恵	非常勤講師	復習	
14	1/4(月)	2	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	oral presentations	戸野 康恵	非常勤講師	会話発表	
15	1/18(月)	2	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	Final Assessment	戸野 康恵	非常勤講師	試験	

教育グランドデザインの関連：1、2、4

学位授与の方針との関連：2、4

授業のレベル：3

評価：定期試験50%、発表30%、小テスト20%

実務経験との関連：無し

教科書：Caring for People, 2014年, Cengage Learning

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

成人看護学実習I(臨地実習3年次後期～4年次前期)

- 科目到達目標: 1. 対象者の思いや考えを理解し、その理解に基づいて円滑に意思疎通を図り、対象者との人間関係を形成できる  
 2. 援助的人間関係の形成に影響を及ぼす自己の在り方を内省することができる  
 3. 対象者を理解しつつ、個別性に応じた適切な看護行為を実施し、対象者に価値ある変化をもたらすことができる力を養うことができる。  
 4. 実習をとおして、対象者にかかわる医療チームの役割と連携、協働について理解を深めることができる  
 5. 実習をとおして、対象者にかかわる医療チームの役割と連携、協働について理解を深めることができる。  
 6. 実習の中で、自己の関わりを客観的にとらえ、生涯にわたり専門性を深めていくための基礎となる能力を身につけることができる  
 7. 実習に伴う諸条件・実習場所での規律を遵守し、倫理観をもった行動ができる

科目責任者(所属教室): 谷村 千華(成人・老人看護学)

連絡先: 0859-38-6315、chika01@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療	到達目標	授業のキーワード
1～68	別途指定 未定		鳥取大学 医学部附 属病院/ 成人・老 人看護学 講座研究 室	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	原則として1～2名の対象者を受け持つ。1名 の対象者を2～3週間継続して受け持ち、その 対象者を通して看護の在り方について学ぶ。 第1週目 ・実習環境を知り、効果的な学び方をつか む。 ・卓越したスキルをもつ看護師の対象者への 関わりやケアに共に参加することを通して、対 象者に応じた効果的な看護ケアを学ぶ。 ・対象者とのかかわりを通して、人間関係の あり方について学ぶ。 ・対象を理解し、健康課題の判断を行う。 第2週目 ・個別的な健康課題に応じた計画を立案し、 看護を実施する。 第3週目 ・看護計画に沿って具体的に看護を実施し、 看護の結果について評価を行い、計画の修 正・追加、実施を行う。 ・看護目標の到達度を評価する。 第1週目～3週目までを通して * 考えて行動すること、行動しつつ考えるこ と、行動(行為)を通して、“看護とは何か?” “病とともに生きる対象者に対する看護とは何 か”を学ぶ。 * 日々の看護実践やカンファレンスを通し て、経験した看護や事象を意味づけ(対象者 にとって、どのような意味があるのか、看護と して正しいか)、それらを統合しながら、看護 のあり方や自己の関わり方を洞察していく。 * 「行為のなかでのリフレクション」「行為の後 でのリフレクション」「行為についてのリフレク ション」をし、経験の質を高めていく。	谷村 千華 大庭 桂子 野口 佳美 酒井知恵 子 長谷川慶 幸 中 條 雅美	成人・老人 看護学	1. 対象者の思いや考えを理解し、その理解に基づいて 円滑に意思疎通を図り、対象者との人間関係を形成でき る 2. 援助的人間関係の形成に影響を及ぼす自己の在り 方を内省することができる 3. 対象者を理解しつつ、個別性に応じた適切な看護行為 を実施し、対象者に価値ある変化をもたらすことができ る力を養うことができる。 4. 実習をとおして、対象者にかかわる医療チームの役 割と連携、協働について理解を深めることができる 5. 実習の中で、自己の関わりを客観的にとらえ、生涯に わたり専門性を深めていくための基礎となる能力を身に つけることができる 6. 実習に伴う諸条件・実習場所での規律を遵守し、倫理 観をもった行動ができる	慢性、対象理解、 看護の方向性の理 解、健康課題の判 断と目標設定、看 護行為の実施、評 価、病みの軌跡、 受容過程、行動変 容ステージ、セルフ マネジメント、生活 者、生活の再構 築、医療チーム、 倫理感、専門性の 追求

教育グランドデザインとの関連: 1,2,3,4,5

学位授与の方針との関連: 1,2,3,4

評価: 実習態度、実習内容(カンファレンスへの参加状況・資料提供、学習状況を含む)、提出物(実習記録、レポート)によって総合的に評価  
 詳細は実習要項参照(7月頃に配布予定)

実務経験との関連: 看護の臨床経験を持ち、専門的知識を持つ教員が慢性疾患を持つ患者の看護について、上記学習到達目標を達成できるよう支援する

指定教科書: なし

その他: 事前に実習オリエンテーションを行うので、必ず出席すること

インフルエンザの予防接種を受けて実習に参加すること

看護学生の臨床実習用傷害保険に加入しなければ受講できない

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

## 老年看護学実習

科目到達目標:老年期にある対象の加齢に伴う身体的・心理的・社会的変化の特徴と人生の統合期である発達課題を理解し、対象に応じた看護実践能力を養うことができる。

科目責任者(所属):中條 雅美・三好 陽子(成人・老人看護学)

連絡先:202教員室TEL:0859-38-6312 mail:miyoc.45@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1 ~ 68				対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	<p>老年看護学実習は、計3週間とし以下の内容とする</p> <p><b>老1:介護老人福祉施設 1週間</b> 原則1名の施設入所者を受け持ち、情報収集→アセスメント→生活援助→評価を行う。また介護老人福祉施設である特別養護老人ホームの機能や役割、他職種連携の実践を学ぶ。</p> <p><b>老2:回復期リハビリテーション病院 1週間</b> 情報収集→アセスメント→健康課題・看護計画立案→看護実践→評価を行うことにより、リハビリテーションを行う高齢者やその家族を対象とし、必要な看護を考察し実施する。また回復期リハビリテーション病院における高齢者を支える他職種連携を学ぶ。</p> <p><b>老3:介護保険施設等 1週間</b> 認知症対応グループホーム、デイサービス、デイケア、サービス付高齢者住宅等の機能、役割を学び、介護保険施設と地域・在宅をつなぐ高齢者へのサービスを学ぶ。</p>	三好 陽子 吉村 純子 酒井 子 長谷川 慶 幸	成人・老人看護学	<p><b>老1 介護老人福祉施設</b> 1) 介護保険施設の一つである、特別養護老人ホームにおけるケアの様子が理解できる。 2) 特別養護老人ホームに入居している要介護高齢者の全体像が理解できる。 3) 加齢や老年症候群等により、不可逆的な老化の状態にある高齢者への援助の方向性が理解できる。 4) 高齢者が主体となり、生活することに積極的に関わられるような自律性を高める援助ができる。 5) 高齢者の環境ケアとコミュニケーションのあり方を学ぶ。 6) 高齢者とのかわりを通して、もてる力(強みや残存機能)を引き出す援助ができる。 7) 高齢者への生活援助を通して高齢者の自尊心やその人らしさを支える援助を学ぶ。 8) 高齢者のケアにおける他職種連携の必要性和看護師の役割が理解できる。</p> <p><b>老2 回復期リハビリテーション病院</b> 1) 高齢者を全人的に理解できる。 2) 高齢者の健康上の課題をアセスメントできる。 3) 健康課題に対する看護計画を対象者の個性をふまえて立案する。 4) 実践した看護を評価し、必要に合わせて修正する。 5) 高齢者の生活の場、療養の場、医療の場の実践に合わせて看護の機能を説明できる。 6) 高齢者看護における継続ケアの必要性を説明できる。 7) 高齢者のケアにおける他職種連携の必要性和看護の機能を説明できる。 8) 対象の疾患および疾患によってもたらされる複合的な問題を理解し、それが患者の生活にどのように影響しているか説明できる。 9) 病状の悪化および転倒・転落事故防止、合併症予防のための援助ができる。 10) 対象の残存機能を最大限に生かし、セルフケア確立に向けた援助ができる。 11) 退院後の生活変化への適応がスムーズに行えるように生活指導ができる。 12) 必要な社会福祉サービスについて説明できる。</p> <p><b>老3 介護保険施設であるグループホーム、デイサービス、デイケア、サービス付き高齢者向け住宅等</b> 1) グループホーム、デイサービス、デイケア、サービス付き高齢者向け住宅等の役割・機能の実際を学ぶ。 2) グループホームで暮らす高齢者の概要について説明できる。 3) デイサービスを利用する高齢者の概要について説明できる。 4) デイケアを受ける高齢者の概要について説明できる。 5) サービス付き高齢者向け住宅に暮らす高齢者の概要について説明できる。 6) 高齢者の身体的・心理的・社会的変化を理解し、在宅高齢者の社会参加の必要性について説明できる。 7) サービス利用者における他職種連携の必要性和看護の役割が理解できる。 8) 在宅高齢者が活用できる社会資源が説明できる。</p>	要介護 健康課題 フィジカルアセスメント 他職種連携 環境 コミュニケーション 自律 QOL 家族 その人らしさ 残存機能 自尊心 社会福祉サービス

教育グランドデザインとの関連:1、2、3、4、5、6

※連絡事項・課題等は、eラーニングシステムmanabaを参照してください

学位授与の方針との関連:1、2、3、4

授業レベル:4

評価:実習記録提出を前提に、実習内容60%、実習態度20%、プレゼンテーション20%で評価する

実務経験との関連:老年看護の臨床経験と専門的知識を持つ教員および臨地実習指導者が、学生の到達目標達成にむけて指導する

参考書: リンダ J. カルペニート 看護診断ハンドブック 医学書院、山田律子他 生活機能からみた老年看護過程 医学書院

ナーシンググラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害 第5版 メディカ出版、老年看護学② 高齢者看護の実践第4版 メディカ出版

その他:「臨地実習共有ガイダンス」および「実習要項」(オリエンテーション等で配布予定)を事前に初日オリエンテーションまでに熟読し、内容を理解するとともに、事前学習課題に取り組むこと

実習前オリエンテーションに出席すること

インフルエンザ予防接種を受ける等、感染症予防対策をして実習に参加すること

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底すること

看護学生の臨床実習用傷害保険に加入すること

## 母性家族看護実習(臨地実習3年次後期-4年前期)

科目到達目標:周産期にある母子とその家族に対し基礎的看護が実践できる。子ども・子育て世代包括支援の実際を知りその在り方を考察する。

科目責任者(所属):佐々木 くみ子(母性・小児家族看護学)

連絡先:ksasaki@tottori-u.ac.jp

電話 0859-38-6324

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1~45	別途指定	未定	未定	別途指定	別途指定	<p>実習内容:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>入院生活を送る妊産婦・新生児を受持ち看護を実践する。</li> <li>入院中の母子や家族、地域で生活する母子や家族への看護を含めた包括的支援について、保健・医療・福祉システム、チーム医療、多職種連携・協働の視点から学ぶ。</li> </ol> <p>実習場所: 鳥取大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター 等 (授業内容の詳細は実習要項を参照)</p>	佐々木 くみ子 鈴木 康江 大谷 多賀子 大島 麻美 金山 俊介	母性・小児 家族看護学	<ol style="list-style-type: none"> <li>周産期における対象の健康状態を生理的・心理社会的側面から理解し、根拠に基づく看護を実践できる</li> <li>対象の治療を理解し、治療に伴う一連の過程に沿った援助を実践できる</li> <li>親子の相互作用を理解し、親子関係の形成を促すための援助について述べられる</li> <li>母性看護の基本的援助技術が実践できる</li> <li>新しい子どもを迎える家族全体のアセスメントを通して理解したファミリーケアについて述べるができる</li> <li>病棟実習を通して深めた、倫理観、生命観、親になることについて、自己の考えを述べるができる</li> <li>周産期・育児期にある対象者に関わる医療チーム、多職種・多機関の役割、連携、協働について説明できる</li> </ol>	<p>リプロダクティブヘルス・ライツ、ヘルスプロモーション、ウエルネス、エンパワメント、自己決定、セルフケア、ライフ・トランジション、家族発達</p> <p>EBN: evidence based nursing、家族中心的ケア、親役割獲得過程、ボンディングとアタッチメント、親子の相互作用、生命倫理</p> <p>チーム医療、多職種連携・協働、子育て世代包括支援、ワンストップサービス、ソーシャルキャピタル</p>

教育グランドデザインとの関連:2、3、4、5、6、7

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学位授与の方針との関連:1、2、4

授業のレベル:3

評価:実習要項に提示する評価表に基づいて看護実践70%、実習態度30%で評価する。

実務経験との関連:看護師・助産師として臨床経験(周産期・ウイメンズヘルスケア)のある教員が母子とその家族に対する基礎的看護実践について実習指導を行う

教科書:母性看護学Ⅰ概論・ライフサイクル第2版、南江堂、大平光子他編。母性看護学Ⅱマタニティサイクル第2版、南江堂、大平光子他編

参考書:新生児学入門第5版、医学書院、仁志田博司。最新産科学正常編22版・異常編22版、文光堂、荒木勤

ウエルネスからみた母性看護過程第3版、医学書院、佐世勝正/石村由利子編

その他:周産期医学を受講していることが望ましい

## 小児家族看護学実習(臨地実習3年次後期-4年次前期)

科目到達目標: 地域や医療施設において生活している子どもと家族の関わりを通して、小児と小児看護の特性を理解する。さらに、生活援助や治療援助に関わる看護実践を体験することにより、対象を総合的に理解し、対象の個性に応じた看護実践が展開できる基礎的な能力を身につける。

科目責任者(所属): 南前 恵子(母性・小児家族看護学)

連絡先: mikeiko@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1~68	別途指定	別途指定	別途指定	別途指定	別途指定	<p>保育園実習 乳幼児の保育に参加し、成長発達の観察、保育技術の実践、保育士・保育園看護師の関わりや保育環境について学ぶ。</p> <p>病棟実習等 1)一人の患児を受け持ち、その児の成長発達及び健康生涯を理解し、看護援助を行なう。 2)保健・医療・福祉システム、チーム医療、他職種連携・協働を学ぶ</p>	南前 恵子 金山 俊介 大谷 多賀子 大島 麻美 花木 啓一	母性・小児 家族看護学	<p>1)小児の特徴を理解し、成長発達を促すための援助方法がわかる。</p> <p>2)小児の健康障害が小児とその家族に及ぼす影響を理解し、援助について考えることができる。</p> <p>3)看護ニーズに関する情報を系統的にアセスメントし、健康課題を考えることができる。</p> <p>4)理論的根拠をふまえ、対象の個性に応じた看護援助を計画。実施できる。</p> <p>5)小児・家族にに関わる医療チーム、他職種・他機関の役割り、連携、協働について理解できる。</p>	小児、成長発達、保育、生活習慣、健康の保持増進、健康障害、看護援助、家族支援、インフォームドアセント、プレバレーション、子どもの生活環境、安全、児童福祉、子育て支援

教育グランドデザインとの関連: 1、2、3、4、5、6、7

学位授与の方針との関連: 1、2、3、4

授業のレベル: 4

評価: 評価表に沿って看護実践(対象の理解、看護過程の展開、対象との関係性の構築など)75%、実習態度25%で評価する。

実務経験との関連: 看護師経験のある教員の指導のもと、小児看護に関する実習を行う。

教科書: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論、医学書院、奈良間美保 他、2019年

小児看護学概論、南江堂、二宮恵子、今野美紀、2019年

発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程、医師薬出版株式会社、荃津智子、2018年

その他: 看護学生の臨床実習用損害賠償保険に加入しなければ受講できない

※授業目的・目標を達成するために自己学習が必要です。内容は別途具体的に提示します。

## 公衆衛生看護学実習(臨地実習3年次後期-4年次前期)

科目到達目標: 市町村および都道府県型における公衆衛生看護活動の実際を具体的、総合的に理解し、看護の展開に必要な知識、技術、態度を修得する。

科目責任者(所属): 松浦 治代(地域・精神看護学)

連絡先: bmharu9@tottori-u.ac.jp

回数	日付	時限	場所	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1 ~ 90	別途指定			対面	遠隔(資料・課題)とリアルタイム講義(meet)併用	事前に配布する要項を参照すること	松浦 治代 金田 由紀子 徳嶋 靖子	地域・精神看護学	市町村・保健所における保健福祉事業への参加を通じて、行政保健師の役割を理解する。 地域の社会的、文化的特性をふまえた健康問題の理解と、その発見と理解に必要な情報収集、アセスメント、活動計画立案、実施、評価の過程を理解する。 地域看護活動は個人、集団、地域社会へのアプローチを相互に連動させ展開することを理解する。 保健、医療、福祉の役割と連携のあり方を理解し、地域の特性にあったサービスの提供について学ぶ。 地域保健、医療、福祉に関わるチームの一員としての保健師の独自性と専門性を理解する。	地域看護診断、家庭訪問、健康教育 健康相談、集団・個別検診・健診、精神デイケア、介護予防事業、関係者会議

教育ブランドデザインとの関連: 1、4、5、6、7

学位授与の方針との関連: 1、2、3、4

授業のレベル: 4

評価: カンファレンスも含めた実習態度・参画度、提出物(で評価します。

実務経験との関連: 現役保健師の指導の下、市町村、保健所等での公衆衛生看護活動に関する実習を行う

教科書: なし

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

**精神看護学実習(臨地実習3年次後期)**

- 科目到達目標: 1. 精神障害をもつ人とかわかり、対象の生活体験を知ることを通し、理解を理解するための精神看護の視点について理解する。  
 2. 対人関係プロセスを振り返ることを通し、自己理解及び対象理解を深め、ケアへ活かすための関心の深化と気づきを得ることにより、関係性を中心としたケアを実践するための基盤となる能力の獲得を図る。  
 3. 精神的な援助を必要とする人々への看護や相互作用を伴う実践を通し、精神看護における看護実践を学ぶ。  
 4. 精神保健上の健康課題をもつひとや家族についての地域の社会資源や支援、制度などを理解し、精神保健福祉の現状と課題について考えることができる。

科目責任者(所属教室):高間さとみ、吉岡伸一(地域・精神看護学)

連絡先:0859-38-6334、E-mail:takama@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1-2	別途指定		実習室	別途指定	別途指定	精神看護学実習オリエンテーション	高間 さとみ 吉岡 伸一 安部 由紀	地域・精神看護学	1)精神疾患を持つ人の看護について、疾患の理解と看護ケアの方略、コミュニケーション技法についての復習を行い、活用できる知識としての学習及び整理ができ、レディネスを高められる。 2)精神看護学実習における目標について、個人の課題や傾向を踏まえた焦点化ができる。  1)対象の理解 ①対象にとっての精神保健上の健康問題や生活上の困難をとらえ、対象自身がそれらをもとに体験しているのかを知らうとする姿勢をもち、かわかりに活かすことができる。 ②精神保健上の健康課題について、医学及び治療の観点からの説明を理解することができる。③対象の特性やストレス、価値、生き方などを、対象の生活史や家族背景、社会関係とのつながりから理解し、個別性の理解を図ることができる。 ④ケアの方向性について、学習者自身のアセスメントにとどまることなく、対象本人や家族、ケア者とともに考える姿勢を学ぶことができ、対象にとっての回復のイメージを共有し、ケアの方向性を導き出すことができる。 2)関係性を中心としたケアの実践 ①対象の言動がもつ意味に関心をもち、対象理解を深めることができる。 ②かわかりを通して体験した対人関係を振り返ることができ、自己理解および対象理解を深めることができる。 ③対象―看護師のかかわりを通して言動や価値の相互作用を理解し、援助的な対人関係の形成と自己活用を深めていくための基盤となる能力を身につけることができる。 3)思考と感情の言語化 ①対象やケアにかかわる相互作用を通して自己に生じた感情や考えを、自身の言葉で表現し、他者に伝えることができる。 ②語ること、聴くことの実践を通し、自己と他者の感情や思考に触れ、インフォーマルな支援の意味合いを体験することができる。 4)精神保健にかかわる資源についての理解 ①精神保健にかかわる連携や、ダイナミクス、チームについての実際を理解できる。 ②自己の価値観や倫理観に関心をもつことができ、精神保健上の健康課題をもつ対象の尊厳を考慮した看護の役割を考えることができる。 ③精神保健上の健康課題をもつ対象を生活者としてとらえ、予防・維持・増進についての視点をもつことができる。	精神疾患の医学的理解 精神看護の知的理解 精神科看護の知的理解 レディネス 自己の傾向と課題の焦点化
3-5		実習室	別途指定	別途指定	精神看護学実習事前課題学習 実習目標の焦点化					
6-7		実習室	別途指定	別途指定	精神看護学実習直前オリエンテーション					
8-24		実習病院	別途指定	別途指定	精神科における精神看護学実習					
25-26		実習病院	別途指定	別途指定	精神科ケースカンファレンス					
27-28		実習室	別途指定	別途指定	アセスメント個人フィードバック					
29-37		実習病院	別途指定	別途指定	精神科における精神看護学実習					
38-43		実習病院	別途指定	別途指定	自立支援施設における精神看護学実習					
44-45	実習室	別途指定	別途指定	まとめカンファレンス		精神看護学実習の学びや気づきを言語化することによる共有、「聞く」「話す」ことによる相互サポートの場を体験、自己の学びと課題の明確化及び体験の意味づけの促進を図ることができる。	相互サポート 言語化			

教育ランドデザインとの関連:2,3,4

学位授与の方針との関連:1,2,4

授業のレベル:3

評価:実習記録提出を前提に、実習全般における「対象の理解」「対象関係の構築」「思考や感情の言語化」「環境および社会資源の理解」「記録」の視点に出席状況を加味し、総合評価100%

実務経験との関連:現役の看護師、自立支援施設指導者がその経験を活かし、精神疾患をもつ人へのかかわりについて指導する。

教科書:1. 精神看護学[1]精神看護の基礎 第5版、医学書院、武井麻子他著、2017年

参考書:1. 精神看護学[2]精神看護の展開 第5版、医学書院、武井麻子他著、2017年 2. 精神看護学 I 精神保健学 第6版(ヌーヴェルヒロワ、吉松和哉他編集、2015)

3. 精神看護学 II 精神臨床看護学 第6版(ヌーヴェルヒロワ、川野雅資編、2015) 4. 精神看護学①精神看護概論・精神保健 第5版、メジカルフレンド社、岩崎弥生編集、2019年

5. 根拠がわかる精神看護技術、メジカルフレンド社、山本勝則、藤井博英著編、2008年

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、目標達成のための自己学習、予習・復習してください。

## 在宅看護学実習(臨地実習3年次後期-4年次前期)

科目到達目標: 疾患や障がいとともに地域・在宅で生活している人とその家族の生活を理解する。

そして、人々が地域・在宅で自分らしく「生活する、生きていく」を支援するための、統合的看護実践能力の基礎を習得する。

科目責任者(所属): 仁科 祐子・松浦 治代(地域・精神看護学) 連絡先: nishina@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1~45	別途指定		訪問看護ステーション	別途指定	別途指定	訪問看護ステーションのオリエンテーション	訪問看護師(実習指導者) 仁科 祐子 雑賀 倫子 安部 由紀	地域・精神看護学	1. 訪問看護実践の実際を知り、実践の根拠・理由を述べることができる。 2. 自己のコミュニケーション能力を活かして、対象者の関心や心理状態に応じた会話が出来る。 3. 在宅療養者と家族の健康と生活について、五感を使って観察することができる。 4. 在宅療養者と家族の健康と生活についてアセスメントできる。 5. 在宅療養者と家族の健康上の問題・ニーズをいくつか挙げ、優先順位を判断できる。 6. ニーズに対し、その人の生活を重視した看計画を立案できる。 7. 在宅療養者と家族の生活と、社会資源・地域社会などの環境とのつながりについて説明できる。 8. 家族の支援について説明できる。 9. 「人が生活する・生きていく」を支援する看護について、自分の考えを述べることができる。 10. 在宅療養者を主体とした看護とはどのようなものか、自分の考えを述べることができる。 11. 在宅でのケアチームにおける多職種協働と看護師の役割について自分の考えを述べることができる。 12. 看護の提供体制、看-看連携、継続看護について、自分の考えを述べることができる。 13. 訪問看護ステーションや訪問する利用者宅でマナーを守り訪問看護師と協働して行動できる。 14. 主体的に実習に取り組み、実習を通して新たな自己の発見や課題を見つけることができる。	マナー
						訪問看護師との同行訪問				主体性
						受け持ち利用者の同行訪問・看護過程の展開				協働性
						実習記録の作成(実習目標・日々の記録・受け持ち利用者の記録・学内演習レポート・最終レポート)				自立と尊厳
						* 併設施設での実習、サービス担当者会議や退院前カンファレンスへの同行、訪問診療同行などが体験できる場合あり				観察とアセスメント
						在宅看護学実習オリエンテーション				ニーズ
			マナー演習			対象者中心思考				
			日常生活援助技術の演習			超個別的看護				
			中間報告会・カンファレンス			生活と生命				
			訪問看護場面のロールプレイング演習			生活と医療				
			事例検討会			自分らしさ				
			まとめの報告会・カンファレンス			家族				
						介護				
						人的環境				
	社会資源・制度									
			在宅看護実習室				仁科 祐子 雑賀 倫子 安部 由紀			

教育グランドデザインとの関連: 1、4、5、6、7

学位授与の方針との関連: 3

評価: 実習態度・マナー・主体性等: 10点

日々の記録: 20点

看護過程の展開: 30点

学内演習・カンファレンス: 20点

レポート: 20点

\* 遅刻、記録提出遅れなどは大幅な減点となるので注意してください

実務経験との関連: ○訪問看護ステーションの管理者から事業所概要についてオリエンテーションをうける。

○熟練訪問看護師と同行訪問し、訪問看護実践について観察、一部実践する。その後フィードバックをもらう。

○訪問看護ステーション管理者、スタッフと学生は、実習経験の振り返りカンファレンスを行う。

教科書: ナーシンググラフィカ 地域療養を支えるケア メディカ出版

参考書: 山内豊明.フィジカルアセスメントガイドブック 第2版.医学書院 角田直枝.よくわかる在宅看護.学研

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

## 家族看護論

科目到達目標：家族看護の必要性や意義を理解し、その理論背景を基に看護展開の手法について理解できる。

科目責任者（所属教室）：鈴木 康江（母性・小児家族看護学）

連絡先:0859-38-6326、アレスコ棟306研究室

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード	公開
1	10/5(月)	3	ヒポクラテス	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	家族看護とは何か～家族看護学のめざすもの	鈴木 康江	母性・小児家族看護学	家族看護の必要性が理解できる。家族看護での家族と看護者の役割が理解できる	家族機能	
2	10/12(月)	3	ヒポクラテス	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	家族看護の基礎的理論	鈴木 康江	母性・小児家族看護学	家族看護学の基礎となる理論が理解できる	システム理論、コミュニケーション理論、家族の構造	
3	10/19(月)	3	ヒポクラテス	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	家族の発達課題、ライフイベントと病気、家族機能アセスメント	鈴木 康江	母性・小児家族看護学	家族の発達を理解し、アセスメントできる	家族アセスメント	
4	10/26(月)	3	ヒポクラテス	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	エコマップの書き方、仮説の立案	鈴木 康江	母性・小児家族看護学	仮説の立て方を理解し、問題をかかえる家族、悪循環が想起できる	家族面談、エコマップ、ジェノグラム	
5	11/2(月)	3	131	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	家族への介入モデル	鈴木 康江	母性・小児家族看護学	介入の基礎が理解できる。介入モデルの使い方が理解できる	家族の発達段階、機能アセスメント	
6	11/16(月)	3	ヒポクラテス	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	家族看護の実践方法(1)	中村 由美子	文京大学 教授(非常勤講師)	家族看護が必要な家族はどんな家族なのか、理解できる	エコマップ、仮説	※
7		4	ヒポクラテス	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	家族看護の実践方法(2)			家族看護を臨床で展開する方法を理解できる	介入的な質問	※
8	11/30(月)	3	ヒポクラテス	対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	家族看護の実践	鈴木 康江	母性・小児家族看護学	家族看護の実際について		

教育グランドデザインとの関連:1、2、4、5、6、7

学位授与の方針との関連:1、2、3、4

授業のレベル:3

評価:試験80%、発表と授業態度20%

実務経験との関連:看護部門での実務経験を踏まえて講義する

教科書:《系統看護学講座 別巻》家族看護学:医学書院

参考書:講義の中で紹介する

その他:授業目的・目標を達成するために各回授業に対し1時間程度の自己学習が必要です。授業に向けた準備等については別途具体的に提示します。

到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習をしてください。

※公開:助産実習関連施設等の助産師、HOCの聴講可

## 看護の統合

科目到達目標：発達、健康、生活の場に応じた健康にかかわる課題の臨床判断能力を高める。適切な臨床判断に基づいた看護行為（生活援助、生活支援）を提供できる能力を高める。

科目責任者：看護学専攻主任

連絡先：bmharu9@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1～23	2月8日(月)～ 2月19日(金)	未定	ヒボクラテス・ATU1～10	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	<b>統合A</b> (1)臨床判断プロセスの明確化 (2)臨床判断プロセスの振り返り (3)自らの臨床判断の傾向や特徴、課題 (4)臨床判断についての課題と対応 <b>統合B</b> (1)対象者の理解と看護援助計画の検討 (2)臨床判断に基づいた看護援助の実施① (3)臨床判断プロセスとその評価、看護援助の実施に関する課題 (4)学習強化と臨床判断に基づいた看護援助の実施② (5)臨床判断に基づいた看護援助の実施②の振り返り <b>統合C</b> (1)「適切な臨床判断とは何か」「実習に活かしていくための自己研鑽の在り方と具体的な学習方法」についての思考と言語化 (2)学生間での共有と学習内容の普遍化(普遍的な法則や概念を作り出すこと)	看護学専攻 教員	基礎看護学	(1)臨床実習で体験した看護場面を想起し、臨床判断プロセスを表現することができる。 (2)臨床判断のプロセスを振り返り、自己の臨床判断の特徴・傾向に気づくことができる。 (3)適切な臨床判断を行うための思考の仕方を理解し、自己の課題を明確にできる。 (4)提示された事例をもとに、適切な臨床判断に基づいた看護実践の視点から援助方法を検討し、看護援助の実施と評価を通して、看護援助を提供できる能力を高めることができる。 (5)(1)～(4)の学びを統合し、「適切な臨床判断とは何か(構造と要因)」、「実習に活かしていくための自己研鑽の在り方を具体的な学習方法」について言語化することができる。	看護場面、看護対象、表現、臨床判断、判断プロセス、影響要因、批判的思考、共感性、危険性の予測と対応ト、倫理的課題と対応、臨床判断、判断プロセス、影響要因、批判的思考、共感性、看護実践能力、自己評価、自己課題の明確化、自己学習能力、アセスメント能力、コミュニケーション儀技術、ヘルスアセスメント技術、生活援助技術、症状緩和およびコントロール技術、心身機能の維持に関する技術、治療・検査に伴う技術
		未定		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					
		未定		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					
		未定		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					
		未定		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					
		未定		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					
		未定		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					
		未定		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					
		未定		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					
		未定		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)					

教育グランドデザインとの関連：2、3、4、5、6、7

学位授与の方針との関連：1、2、3、4

授業のレベル：4

評価：評価表に沿って到達目標の達成度、学習への参画状況などにより総合的に評価する。

実務経験との関連：看護師としての実践経験のある教員が、臨床判断とそれに基づく看護実践について学生の思考プロセスを支援する。

参考書：別途提示します。

※授業目的・目標の達成に必要な適正な量の予習あるいは復習課題を別途具体的に示します。

助産診断技術学演習 I

科目到達目標：分娩期の助産診断過程：基礎的知識・技術を理解し母児が安全に出産できるよう支援法が理解できる。

ウィメンズヘルスケア：女性特有のがんについて理解し、予防・早期発見への健康活動方法が理解できる。

科目責任者(所属):鈴木 康江(母性・小児家族看護学)

連絡先:0859-38-6326 E-mail: ysuzuki@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード	公開			
1	11/2(月)	4	助産実習室	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	オリエンテーション	鈴木 康江	母性・小児家族看護学	周産期に関する基礎的能力を確認し、学修の必要性・内容を理解する。	周産期・フィジカルイグザミネーションの基礎的知識				
2	11/9(月)	4		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	乳がんの早期発見と支援	藤原 由記子	基礎看護学	乳がん自己検診法についての健康教育方法について実施できる	乳がん、疫学、病理、病期、早期発見、自己検診法、治療、健康教育				
3	11/17(火)	1		対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	妊娠末期・分娩期の事例展開 ・個人学修 ・グループ学習・討議 ・ロールプレイ	鈴木 康江 大谷 多賀子 大島 麻美	母性・小児家族看護学	妊娠期から分娩入院の問い合わせ、対応、来院時の健康診査を理解し、ロールプレイを通して自己の課題を意識して整理できる。	来院の判断に必要な問診と対応、来院までの準備(産科・妊娠経過の把握、分娩室の準備)、来院時のアセスメントと健康診査に必要な技術、分娩期の診断(時期診断・経過診断・経過予測診断)・アセスメントの視点、観察内容				
4	11/17(火)	2		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)				分娩第1期の経過・経過予測するために必要な観察項目を抽出できる。	分娩第1期潜伏期から活動期、加速期・極期・減速期、分娩第2期の経過を理解し、①分娩経過と経過予測に必要な観察内容、②産婦自身が対処行動に適切であるための助産ケアのタイミング、方法、関わりを実践を通して理解する。	分娩経過の理解、経過・経過予測するための観察項目・アセスメントの視点、産婦の基本的ニードとケア、産痛緩和、バルトグラム			
5	11/17(火)	3		対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)				分娩期の助産ケア実践に必要なスキルを抽出し、自己の課題を明確にする。	課題の明確化、具体的解決方法の抽出				
6	11/17(火)	4		対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)				分娩室入室前の準備が理解できる。	分娩室入室までの準備(環境整備、器具の準備、新生児、救急処置、産婦、分娩助産者・間接助産者の準備)、児の娩出助産の原理・方法、人工破膜、肛門保護、呼吸法の指導、会陰保護、児頭・肩甲娩出、臍帯切断、新生児のルーチンケア、胎盤娩出、軟産道検査、胎盤計測				
7	11/18(水)	1		対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)				胎児の娩出助産の原理・方法を踏まえ、分娩助産技術のデモストを通して、分娩助産練習のために必要な基礎的知識・技術を確認する。	出生直後の新生児のルーチンケア、蘇生の初期処置、胎盤計測の基礎的知識・技術を確認する。				
8	11/18(水)	2		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)				出生直後から新生児期の健康診査法について理解できる	NCPR健康診査				
9	11/20(金)	3		対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)				子宮頸がんの病理、症状、診断・検査法、治療法について理解し、予防と診断治療の支援について理解できる。がん検診法をモデルを使用して手技ができる。	子宮頸がん、HPV、HPVワクチン、パップスメア、病期、治療法、疫学				
10	11/20(金)	4		対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)				思春期保健指導法	大島 麻美 鈴木 康江	母性・小児家族看護学	思春期保健の課題と対策、保健指導方法の具体例について理解し、実践方法について理解できる	思春期ピアカウンセリング、性感染症、若年妊娠、LGBT、いじめ、自尊感情、自己肯定感、	
11	11/19(木)	1		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)				軟産道の損傷・会陰切開とその修復(縫合術)	原田 崇 経遠 孝子	総合周産期母子医療センター(産科医)	軟産道損傷の原因・程度をアセスメントし、会陰裂傷の縫合をシミュレーションし、縫合術の手技、助産についてイメージできる。	会陰裂傷の原因・診断・分類、会陰切開の種類・時期と手技、会陰裂傷の縫合と看護援助	◎
12	11/19(木)	2		対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)				妊婦健診・アセスメント(超音波検査法)			周産期における超音波検査法を理解し、超音波機器の使用方法が分	超音波検査の原理、安全性、妊娠初期・中期・後期の超音波検査のシミュレーション	◎
13	11/19(木)	3		対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	新生児の健康診査	鈴木 康江	母性・小児家族看護学	子宮頸がんの病理、症状、診断・検査法、治療法について理解し、予防と診断治療の支援について理解できる。がん検診法をモデルを使用して手技ができる。	子宮頸がん、HPV、HPVワクチン、パップスメア、病期、治療法、疫学				
14	11/19(木)	4		対面	パターン2遠隔(オンデマンド学習)	思春期保健指導法	大島 麻美 鈴木 康江	母性・小児家族看護学	思春期保健の課題と対策、保健指導方法の具体例について理解し、実践方法について理解できる	思春期ピアカウンセリング、性感染症、若年妊娠、LGBT、いじめ、自尊感情、自己肯定感、				
15	2月下旬	3	シミュレーションセンター	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	軟産道の損傷・会陰切開とその修復(縫合術)	原田 崇 経遠 孝子	総合周産期母子医療センター(産科医)	軟産道損傷の原因・程度をアセスメントし、会陰裂傷の縫合をシミュレーションし、縫合術の手技、助産についてイメージできる。	会陰裂傷の原因・診断・分類、会陰切開の種類・時期と手技、会陰裂傷の縫合と看護援助	◎			
16	2月下旬	4	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	妊婦健診・アセスメント(超音波検査法)	周産期における超音波検査法を理解し、超音波機器の使用方法が分			超音波検査の原理、安全性、妊娠初期・中期・後期の超音波検査のシミュレーション	◎				

教育グランドデザインとの関連:2、3、4、5

学位授与の方針との関連:2、4

授業のレベル:3

評価:レポート30%、技術確認70%

実務経験との関連:診療部門、看護・助産部門での実務経験を踏まえて演習する

参考書:助産学実習プレブック、母性実習プレブック、新生児学入門第4版、医学書院、2012、最新産科学正常編22版・異常編22版、文光堂、2008・2012、胎児心拍数モニタリング講座、メディカ出版、2012、

助産師基礎教育テキスト5巻、6巻、母性看護学Ⅱ、新生児蘇生法テキスト第3版、産婦人科診療ガイドライン産科編2020エビデンスに基づく助産ケアガイドライン(妊娠期・分娩期)2020、

DVD:目で見える新生児看護1-4巻、目で見える母性看護1-6巻、産褥経過のアセスメントと支援1-4巻

その他:助産師国家試験の受験要件講義

授業目的・目標を達成するために各回授業に対し1時間程度の自己学習が必要です。授業に向けた準備等については別途具体的に提示します。

助産関連講義資料、母性家族看護学関連講義、演習資料を整理し、到達目標を確認し、予習準備をして演習に臨んで下さい。

集中で行います

◎実習関連施設の助産師への公開講義

## 助産業務管理論

科目到達目標: 妊婦・産婦・褥婦・新生児が快適に生活するための業務、病院管理、評価を学ぶ

- ① 周産期医療システムの運用と地域連携、助産の果たす役割について理解できる
- ② 場に応じた助産業務管理の実践が理解できる
- ③ 法に基づく助産師の業務管理について理解できる

科目責任者(所属): 大谷 多賀子, 鈴木康江 (母性・小児家族看護学講座)

連絡先: 6327

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/5(月)	1	261	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	助産管理の基本/理念	鈴木 康江	母性・小児家族看護学	助産管理の基本がわかる 助産にかかる関連法規と助産業務について理解できる	助産管理、医療法、保助看法、母子保健法、母体保護法など
2	10/12(月)	1	261	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	産科補償制度、助産業務	鈴木 康江	母性・小児家族看護学	産科補償制度について理解し、安全な出産環境とは何か考察できる	産科補償制度
3	10/19(月)	1	261	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	危機管理と助産: 災害、医療事故	大谷 多賀子	母性・小児家族看護学	危機管理について理解し、災害時及び医療事故への備えを助産師として対応できる	産科補償制度、医療事故、インシデント、災害、災害支援
4	10/26(月)	1	261	対面	パターン1遠隔(資料・課題学習)	助産業務管理の実際: 助産所、地域	西江 順子	開業助産師(非常勤講師)	助産所の運営管理が理解できる	助産所、基準、助産業務ガイドライン
5	11/2(月)	1	261	対面	パターン1遠隔(資料・課題学習)	母子保健行政	大谷 多賀子	母性・小児家族看護学	母子保健行政が理解できる	母子保健行政
6	11/9(月)	1	261	対面	パターン1遠隔(資料・課題学習)	助産師に求められるチーム医療、これからの助産師	鈴木 康江	母性・小児家族看護学	チーム医療について理解し、その中で助産師が果たす役割について理解できる	助産師出向、新人助産師研修制度、助産師習熟度段階認定、卒後教育、ポートフォリオ
7	11/16(月)	1	261	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	助産業務管理の実際: 院内助産、助産外来	平野 めぐみ	アドバンス助産師(非常勤講師)	院内助産を運営する上で、どのようなスキルを必要とするか理解できる	院内助産、助産外来、産科診療ガイドライン
8	11/30(月)	1	261	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	地域での助産活動: 子育て支援、クリニックでの助産業務管理	洪川 あゆみ	アドバンス助産師(非常勤講師)	地域での支援について理解できる。 クリニックでの助産管理について理解できる。	子育て支援、産後ケア事業、助産師出向支援

教育ブランドデザインとの関連: 2, 3, 4, 6

学位授与の方針との関連: 1, 2, 4

授業のレベル:

評価: 定期試験90%、レポート10%他

実務経験との関連: 助産の施設・地域での活動の実践経験をふまえて講義する

指定教科書: 助産師基礎教育テキスト 2020年版 3巻 周産期における医療の質と安全 日本看護協会出版会

新版 助産師業務要覧 第3版(基礎編) 日本看護協会出版会

助産業務ガイドライン2019 日本助産師会

特に周知を要する事項: 助産師国家試験の受験要件講義

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。